

めあて

日本や世界の人口分布とその変化には、どんな特徴があるの？

世界の人口

西暦0年 2億5000万人

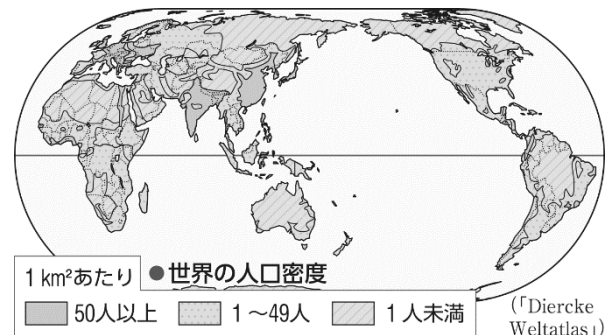
1850年 5億人

1930年 20億人

1975年 40億人

2020年 約()億人

→20世紀後半から急速に増加する()がおこる



上の図のように、人口分布にはかたよがりがある。(多いところもあれば、少ないところもある)

日本や北アメリカ、ヨーロッパ州は人口が(2)している。

南アメリカ、アジア、アフリカ州の発展途上国では人口が(3)している。

発展途上国では、死亡率(＝死ぬ数)が減っている。

→医療、医薬品の普及

出生率(＝生まれる数)は多い→人口が増える。

人口は、
(生まれた数)－(死んだ数)
が「+」なら増え、
「－」なら減る。

国・地域の男女別・年齢別の人口構成を表したものを
(4)という。

●タテ軸は年齢を示す。上にいくほど年齢が高くなる。

A・・・富士山型 高齢者が()く、子どもが()い。

B・・・つりがね型

C・・・つぼ型 高齢者が()く、子どもが()い。

今の日本に一番近いのは、(A ・ B ・ C)

高齢者が多い (5)になっている。

また、子どもが少ない(6)が進んでいる。

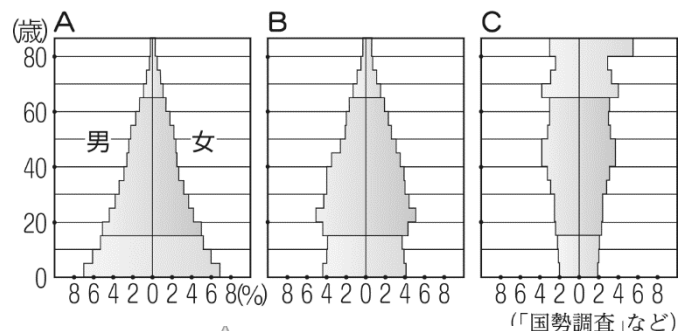
※一生に女性が出産する人数(合計特殊出生率)が1.46

人口を維持するためには2.07必要である。

→日本の人口は、10年ほど前から(7)している。

現在の日本の人口は(8)人ほど。

●人口ピラミッドの3つの型



●ヨコ軸は割合を示す。男性の人口は左側に、女性の人口は右側に書く。

総人口の半数が東京・名古屋・大阪の(8)に集中している。

そのほかにも、札幌・仙台・広島・福岡などの地方の中心都市である(9)に集中しがち。

1960年代に、農村から大都市圏に人口が移動する。

その結果、大都市は人口が集中する(10)になっており、

ごみ処理、住宅難、交通渋滞などの問題がおこる。

一方、農村は人口が減少する(11)になり、学校やお店がなくなり、生活が不便になっている。

めあてに対する答えを書いてみよう